

育成幼稚園 4月園だより

## やっぱり飛び出す

えんちょう こうち たかし  
園長 高地 敬

新しい年度となり、子どもたちは少し心配しつつも大きな期待を持って園で生活を始めます。おうちの方々も同じような気持ちでおられるのではないのでしょうか。おそらく誰でもがいつも前向きと後ろ向きの気持ちを同時に持って生活をしているのだと思います。

子どもたちは園ではできるだけ自由に、でも危ない時は先生たちが止めたりします。子どもたちにとっては自由にしている時も危ない時もみんな前向きの気持ちなのでしょう。せっかく楽しんでやっているのに、なぜ大人は「あぶない！」と叫びながら止めるのか、よく分からないのだと思います。

「とびだしくん」とか「とびだしぼうや」などと呼ばれる子どもの形のベニヤ板にペンキを塗ったものが道路わきにあって、「飛び出し注意」と書かれています。地域によっては女の子も含め手作りのいろいろなものが道路わきから飛び出しそうになっています。自動車の運転手に注意を呼び掛けている、ということはつまり、子どもはどんなに言い聞かせても道路に飛び出すものだ、だから運転手に注意をするということでしょう。子どもは注意を聞かないということを前提にして、大人は小さい子たちをさまざまな配慮をしながら守ります。机の角に頭をぶつけないように手を添える。子どもの手の届くところに危ないものがあれば、届かないようにする。転落防止に柵を置く。

でも、危険をすべて避けようとする、子どもの自由が無くなってしまふことを私たち大人はよく知っています。制限しないといけないけれども、制限しすぎてはだめ。だからこそ子どもたちの自由を最大限尊重することを優先して考える。今年度も子どもたちにそんな関わりができればと願っています。